

上市町防災行政無線更新工事 特記仕様書

本特記仕様書は、「上市町防災行政無線更新工事」仕様書を、補足するものである。

なお、下記の特記仕様書と発注仕様書の内容が異なる場合は、特記仕様書を優先するものとする。落札後の仕様変更の申し出及び一方的な解釈による応札は一切認めないものとする。

1 総則

本事業は、更新時期を迎えた既設設備（16QAM 方式）を継続しながら新設設備（QPSK 方式）の整備を行い、同時に機器の高機能化を図り、住民や町内事業者の安心と安全、防災、減災対策を通じた町ぐるみの防災力の向上、町の活性化に資することを目的に行うものである。

こうしたことから、次の事項について特記する。

2 既設設備との連携について

本施設は、親局設備から市内に分散配置した屋外拡声子局および戸別受信機を介して、屋内外にいる地域住民に情報を伝達する極めて重要な設備である。

本工事期間中に既設設備の動作不具合が発生したとき、受注者は、町が保守管理を契約した業者（令和 7 年度）と連携協力し、速やかに原因の調査及び修復の対応措置を講じること。

また、既設設備とのシステム併用運用する令和 8 年度においては、受注者の責任において、既設設備を含め一括して保守管理し、不具合発生時は速やかに原因の調査及び修復の対応措置を講じること。

※令和 8 年度は、町は別に事業者と保守管理委託を契約しません。受注者が既設設備と新設設備を一括して保守管理すること。

《既設設備保守管理の主な内容》

- ・ 定期点検（総合点検一年 1 回 実施時期は別途協議）
- ・ 緊急点検及び修理（随時）
- ・ その他監督官庁の検査等がある場合

なお、既設設備において修繕が発生した時は、受注者と町が協議することとする。

3 町防災力向上等に関する取組について

本施設は、災害などの非常時において機能を発揮する極めて重要な設備であることから、平時からの機器メンテナンスを含め、機器の故障等においていち早く対応しなければならない設備であります。

非常時の防災力向上の観点から、施工時から町内事業者（電気工事等）との関わりを重視し、一部工事を依頼するなど積極的な活用を図り、町の防災力向上に努めること。

また、地域住民に対する防災行政無線の理解と活用を図るよう、受注者として提案実施し町全体の防災力の向上に努めること。